かむかむ

SINCE-1987 TOUSEI
とうせい歯科医院
〒399−4117　駒ヶ根市赤穂小町屋10737−1
TEL. 0265−83−0888
E-mail thousei@avis.ne.jp　http://www.mcci.or.jp/www/thousei/

2013/5/9 Vol.149　編集(金田)

歯科の麻酔

「歯の治療が痛くなかったら・・・」この願いは歯科の治療を受ける方なら誰もが思うことではないでしょうか。もちろん患者さんにできる限り痛みのない、安全でストレスのない歯科医療をご提供したいという想いは治療を施す私達の持つ願いでもあります。

「痛くない治療を提供したい。」という想いは、昔から歯科医師にとって大変切実なものでした。そこで生み出されたものが麻酔でした。実は麻酔の歴史は歯科から始まったと言われています。今から160年前、アメリカ人の歯科医師のホーレス・ウェルズが笑気ガスを吸って騒いでる旅芸人の一座に出くわした際、芸人の一人が足のすねを強くぶつけたのに本人が全く痛がらない様子を見て、「笑気ガスには麻酔の作用があるのかもしれない！」と思いつきました。このひらめきこそ、現代にいたる医学の飛躍的な進歩を支えてきた麻酔の歴史の始まりだったのです。無痛治療という理想に向かって麻酔治療は、様々な模索と研究を重ね成果を上げてきました。

では、歯科で使われる麻酔にはどんなものがあるでしょう。ひとことで麻酔といってもいろいろ種類があります。ぐっすりと寝かせて意識を無くさせる**全身麻酔**、笑気ガスなどを吸って意識はあるまま精神的なストレスを和らげる**精神鎮静法**、治療をするところに注射などをして痛みを無くす**局所麻酔**があります。歯科でもっとも多く行われているのは局所麻酔です。局所麻酔は注射の刺す位置や深さによって麻酔をコントロールすることができます。例えば深く埋もれた親知らずを抜く場合、枝分かれする手前の知覚神経のおおもとの近くに麻酔薬を注射をします。そうすることで広い範囲に長い時間しっかりと麻酔を効かせることができます。これを**伝達麻酔**といいます。一般的な治療（削ったり被せたりする治療など）に用いられる方法は**浸潤麻酔**といいます。歯茎などから麻酔を注射し、麻酔の薬を染み込ませて治療するところの知覚神経を麻痺させる方法です。歯科医院でもっとも多く行われていて、皆さんが経験されている麻酔のほとんどはこの浸潤麻酔です。伝達麻酔も浸潤麻酔も注射を用いますが、注射を使わなくても麻酔をする方法があります。麻酔薬が液体や軟膏、ゼリー状になっており、その麻酔薬を歯茎に塗ったり吹き付けて歯茎の表面のみ麻酔をする方法で、これを**表面麻酔**といいます。表面麻酔は麻酔の注射をする前に塗っておけば針を刺す時の痛みを軽減させることができます。その他にも歯石を取るとき、口内炎ができて治療時に痛むとき、歯の型を採るときに「オェッ」となるときに表面麻酔は大活躍します。

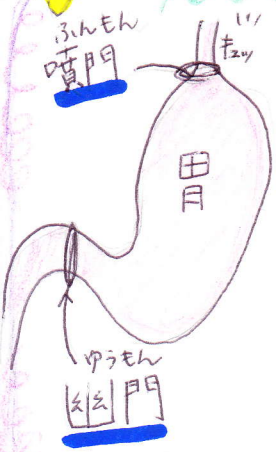
『麻酔』と聞くと注射のイメージが強く、麻酔自体が苦手という方もいると思いますが、治療中に感じる痛みを我慢することは体にとっても、心にとってもいいことではありません。痛みを感じたときは無理をせず麻酔に頼ることで、ストレスのない歯科治療を受けることができます。

（担当：金田）

胃食道逆流症って？知ってますか？

↳ 別名：逆流性食道炎

胃のしくみ



通常 健康体では
胃の上部(噴門)にある
括約筋が締めつけの
役割を果たし胃に入った
食物や胃液は逆流
しません!!!

胃酸の強さ

胃酸はPH1.0～2.0の強酸性の分泌液です。
食物とともに胃に取込まれた雑菌は
胃酸によって殺菌され食物は軟らかくなります。
塩酸よりも 胃酸はとても強く
茶褐色の10円玉を胃酸に
浸すとすぐにピカピカになる程です!!

胃食道逆流症になると…??

何らかの原因で胃酸が食道へ逆流し長時間停滞するため食道粘膜に
傷害が発生し胸やけ、ノドの異和感(イガイガ)、ゲップ、胃が重苦しい、おなかが張る
などの症状が出ます。

〈原因〉油っぽいものをよく食べる、ストレスが多い、肥満、胃酸過多
摂食障害、高齢者の食道裂孔ヘルニアなどで括約筋の異常 など

〈治療〉病院へ行きお薬を数日間飲みます。

歯も溶けちゃう??

胃酸の逆流によって口腔内が酸性に傾き歯が脱灰(歯の表面のエナメル質が溶けること)
されやすい環境になります。毎日一生懸命歯磨きをしているのにむし歯になってしまう人が
『胃食道逆流症』を患っていたことが分かりむし歯の原因が明らかになった事例もあります。
ここで大切なのは唾液の分泌です。唾液の緩衝作用により口腔内を中和させます。

唾液分泌量促進のための対策は…??

1. 唾液腺マッサージ
2. 噛む(ガムの応用)
3. 舌トレーニング
4. 保水剤の使用
5. 口腔粘膜マッサージ

などです!!!

歯磨き習慣には問題がないにもかかわらずむし歯が多発していたら胃腸の健康をうかがいましょう!

担当 下田